



国際理解教育

Education for International Understanding



国際化の一層の進展

- ◆日常生活において異なる文化や生活習慣を持つ外国の人々と接する機会の増大
- ◆外国に出かけて様々な異文化に接する機会の増大
- ◆日本を離れ外国社会の中で暮らす機会の増大

人間として普遍的な資質や能力の要求

- ◆どんな環境でも自分を見失わず、柔軟に対応できる力

主体性、意欲、礼儀正しさ、思いやりなど

国際的視野に
立って主体的に
行動するために
必要と考えられる
資質・能力の基
礎を育成するこ
とを目的とした教育
活動

国際理解教育の観点

広い視野を持ち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力の育成を図ること

異文化と共生できる
資質や能力

国際化対応への3つの視点

自己の確立

コミュニケーション
能力

国際理解のためにも、日本人として、また、個人としての自己の確立を図ること

国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育成する観点から外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図ること